

長崎歯科衛生士専門学校

令和元年度 第2回学校関係者評価委員会報告書

日 時：令和2年3月13日（金曜）午後6時25分～7時45分

場 所：長崎県歯科医師会館 3階学校会議室

出席者：【評価委員】 7名

【専門学校】 6名

司会進行：岩永教務部長

1. 開 会（岩永教務部長）

2. 挨拶（田中副校長）

3. 出席者紹介

4. 報 告（岩永教務部長）

◎前回の協議後の取り組みについて

→歯科衛生士の周知活動

- ・子ども向け新聞への掲載による、保護者や祖父母への周知
- ・県歯会員歯科医院での中高生を対象とした職場体験の検討、受入依頼
- ・県歯科医院向けの歯科衛生士紹介用媒体作成、配付
- ・卒業生動向調査就業先に加え本人にも調査を開始

(1) 令和元年度卒業生就職状況について

- ・学生数 47 人中就職内定者 47 人、うち県外就職 7 人

(2) 卒業生動向調査について

- ・医院側と本人の退職理由の違いが問題。本人への調査も継続していく
 - ・聞き取った後のフォロー体制の構築
- 県歯で無料職業紹介所を立ち上げる。早期離職を防ぐ手立てになるとよい

(3) 高等教育の修学支援新制度について

- ・新卒（2年迄）対象。4月から始まり在校生にも適用される。両者とも申請あり
- 給付取り消しもあるので学習意欲の維持を指導する

5. 協 議（岩永教務部長）

(1) 令和元年度前期自己評価について

- ・「人に優しい歯科衛生士」を繰り返し意識させ、育てる
 - ・欠席者が減らない。理由がはっきりしないため策を考えにくい
 - ・県歯主催で復職支援事業を行っている。次年度は基金事業とし長崎大学にも協力を依頼予定
 - ・非常勤講師に対する規程を作成した
 - ・定期試験他の割合を次年度からシラバス明記する
 - ・学生支援は全体的に評価が低い項目になっているが改善方を言及すべき
 - ・メンタル面は年2回のアンケートによりカウンセラーとの面談希望をとっている
- 現在、本校でのいじめはない
- ・学生による母校訪問でのPRは効果的だが時間的に難しく、「卒業生の声」を活用している

- ・家庭と両立している歯科衛生士に協力を仰ぎ、体験談を含め保護者への説明を担当してもらっている
- ・6月の衛生週間各地イベントへの参加で社会貢献している
- ・高校側からインターンシップの申し出があり、受け入れ体制を整えている

(2) その他

- ・令和2年度新入生数について→前任者の努力が今回の入学者増につながったと思われる
- ・オープンキャンパス日数を4回から7回に増やす→効果的な時期を計る
- ・医療系に興味がある長崎県内の生徒にDM送付。佐世保(九文)と合同で行った
- ・通信生へのアプローチも考えている
- ・今年度3年生の国家試験業者速報による自己採点結果…合格点に達していない者あり
- ・国家試験対策について講師と連携し今後検討していかなければならない

6. 閉 会 (岩永教務部長)